

## ●広告料金表抜粋

掲載スペース	カラー	モノクロ	サイズ(天地×左右mm)
第1ブロック	490,000円	——	297×210mm
記事対向1頁	490,000円	——	297×210mm
1頁	450,000円	185,000円	297×210mm
1/2頁	250,000円	95,000円	132×185mm
記事中縦1/3頁(後付)	180,000円	——	272×56mm

※広告料金には別途消費税8%がかかります。

※広告企画関連広告は紹介記事の周辺に集中して掲載いたします。

※その他のスペース、タイアップ広告については、お問い合わせ下さい。

## ●媒体概要

創刊 ..... 1956年8月  
発行部数 ..... 60,000部  
販売方法 ..... 全国書店販売  
定価 ..... 1,944円(税別)  
製本・開き ..... あじろとじ・左開き

## ●読者層

建築・店舗設計事務所 ..... 46.7%  
店舗設計施工会社 ..... 26.5%  
建設会社 ..... 8.5%  
小売店・飲食店 ..... 7.2%  
その他 ..... 11.1%

取り扱い広告代理店

## 株式会社 商店建築社

東京本社 / 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-5-3 TEL : 03-3363-5760

大阪支社 / 〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋1-9-28 TEL : 06-6251-6523

<http://www.shotenkenchiku.com>

## 広告企画書

2019年8月28日発売号

Advertising Project Proposal  
September 2019

# 9

# 商店建築

SHOTENKENCHIKU

9月号のラインアップ

透明・透光素材  
装飾部材

# 広告企画書

Advertising Project Proposal

- 発売日 ..... 2019年8月28日
- 広告申込締切日 ..... 7月16日
- 広告原稿締切日 ..... 7月19日

## ●広告企画

### 透明・透光素材

店舗を始めとする空間演出の可能性を高める透明・透光素材を紹介

商業空間や各種施設において、空間の広がりや距離感を調整するために欠かせない透明・透光素材。用い方ひとつで空間の印象は大きく変わります。特に今日では従来使用できなかったさまざまな素材を活用した製品や、新素材との組み合わせなどが増え、演出方法の選択肢が大きく広がっています。本企画では、空間を構成する透明・透光素材を施工例とともに紹介します。



#### 広告対象製品

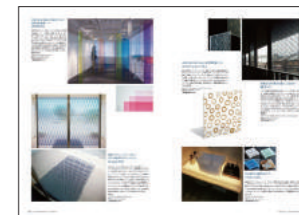
ガラス/カラーガラス/ガラスブロック/ステンドグラス/アクリル/樹脂素材/メッシュ/格子/パンチングメタル/和紙/テキスタイル/フィルム素材/シート素材/陶器/石材/導光板/光床・光壁ほか



掲載イメージ

## 広告企画とは？

広告企画では、毎号テーマを設け、デザインや機能性に優れた店舗用建材や設備製品を1ページあたり3~4点のスペースで多数紹介します。掲載内容は、製品・施工事例写真(1~2点)、製品紹介文(300字以内)、会社情報のほか、読者が簡単に資料請求を行える「資料請求番号」を記載します。



## ●広告企画

### 装飾部材

店舗や各種施設の内外装を彩るさまざまな装飾部材を紹介

空間のイメージや印象を決める圧倒的な力をもつ装飾部材。ヨーロッパ調では伝統的な装飾を施したモールディングや柱、ロートアイアン。また、アジアの各地でつくられる透かし彫りの建具や欄間など、空間の装飾には地域や時代によってさまざまな様式が存在します。近年では立体的な形状の三次元装飾パネルを使用した壁面の装飾も増えてきています。本企画では、店舗や商業施設を始めとする各種施設の内外装を彩るさまざまな装飾部材を紹介します。



掲載イメージ

#### 広告対象製品

装飾パネル/木・石膏・セラミック・GRC・GRG・発泡ポリスチレン・合成樹脂などによる装飾部材/装飾柱/モールディング・ボダー・額縁/欄間/ライムストーンなどのレリーフ加工/ロートアイアン/民芸・アジア風の装飾部材・建具・木彫製品 ほか

## 今後の予定企画

月号	発売日	申込締切日	原稿締切日	広告企画
10月号	9月28日	8月16日	8月20日	1/8 ページ広告企画「店舗建材・設備ガイド 2019 秋」 音響設備・映像装置(※) タイル・ブリック・ストーン
11月号	10月28日	9月17日	9月20日	トイレ&パウダールーム 塗装・塗材

(※) 誌上プレゼンテーション：メーカー取材を元に、製品のスペックだけでなく、製品の開発意図や企業姿勢などを記事(有料)として掲載します

# 商店建築

# 9

月号

編集・予定企画

連載・予定企画

## 創刊 300 号記念 特別企画 vol.2

### 「タイムレスな商空間デザインを求めて」

20年、30年と今も続く、空間デザインが秀逸な名店をインテリアデザイナーとともに訪ねたり、ベテランデザイナーのデビュー作となった店舗を再訪したりと、日頃の誌面ではできない取材をします。また、「私が感銘を受けた店舗デザイン」という切り口でアンケート取材を取行したりと盛りだくさん。そこから、「空間デザインが優れているだけでなく、長く繁盛し続ける店を生み出すために、インテリアデザイナーは何ができるのか」を探っていきます。

## 大特集

### 「レストラン&ダイニング ～居心地と賑わいの飲食店デザイン」

#### PART1 「カジュアルダイニング」

エスニック料理の大型店、席バリエーションが豊富で非常に秀逸にプランニングされたカジュアルイタリア料理店など、賑わう飲食店を取材します。空間デザインのみならず、飲食店設計の要となる平面計画（カウンターや席の配置）にもフォーカスして設計者に取材します。

#### PART2 「エッセンシャルレストラン vol.2」

新たな飲食店ジャンル「エッセンシャルレストラン」の最新プロジェクトを集めて掲載します。料理も空間も、できるかぎり加工せず素材の質感をそのまま剥き出しにして楽しませる。カジュアルだけれど、チープじゃない。むしろ、本質的で上質。いま、最も熱い飲食店の業態です。

#### PART3 「和食」

割烹料理屋から居酒屋、うどん屋まで、和食系の飲食店を集めました。「いかにも」な和風ではなく、現代的にアレンジした和の要素をいかにデザインで表現するか。そこに注目してご覧ください。

#### PART4 「焼肉店」

素材感のある空間の中で焼き肉を楽しむ。そのような焼肉店を掲載します。中目黒の焼肉店では、個室が小さな建物のようにデザインされ、店内が石積み町の並みのような空間です。

### 「日本商空間デザイン史」

デザイン批評家で編集者の鈴木紀慶氏が、「1980年以降」を対象に、店舗インテリアデザインの歴史を書き起こしていきます。1980年までのインテリアデザイン史は、同氏や他の研究者やデザイナーが執筆しています。しかし、それ以降の歴史はまだあまり整理されていません。そうした未踏の領域へ、史的視点から切り込んでいきます。

### 「東京ヤミ市 建築史 ～マーケットと横丁の起源を歩く」

私たちは今、横丁でお酒を飲んだり、細い路地と小さな無数の店が絡み合う界隈性あるエリアを歩き、「なんだか、ちょっと怪しげ。でも人間味を感じるし、居心地がいい」なんて言いながら、楽しんでいます。このようなエリアを都市史研究家の石樽督和氏と歩き、フィールドワークします。そして、同氏から史実に基づくレクチャーも行います。